



玉江小学校だより

玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和5年7月発行
鹿兒島市立玉江小学校
第 4 号

事故のない安全な夏休みに

玉江小学校 校長 佐々木 好彦

校区の実態から引き渡し訓練に一本化

5月13日, 6月10日と2か月連続で第2土曜日の3校時は, 緊急時引き渡し訓練を実施しました。週休日のゆっくりされている, あるいは, お仕事でお忙しい中, ご協力いただきありがとうございました。

くしくも2日も雨天になり, 保護者の皆様にはぬかるんだ校庭を移動していただくなどご苦労をお掛けしましたが, より実践的で臨場感に富んだ訓練になり, 効果が上がったと思うことでした。

昨年度までは, 町内会ごとに決められた場所に集合し, 人数確認をしたうえで, 町内会担当の職員と共に集団下校訓練も実施していました。私は, 自転車を走らせ, その様子を見て回りました。

私の観察や職員からの指摘で課題をいくつか数えることができました。その代表的なものとしては・・・

① 学校から伊敷病院に向かい左折し日当平住宅, さつま団地方面への下校については道幅が狭いうえに双方から車両がくる時間帯。白線内の歩道を一列で帰すわけですが, 集団にすることでかえって危険性が高まると感じました。荒天の状況下での下校となると傘を差した長い集団が狭い道路を次々と下校することになり, 危険性は増幅すると感じました。

② 小野町方面の児童は, 甲突川の兩岸を集団下校させることとなります。台風・大雨等への対応では, 増水している川に近づけなければならなくなり, 安全確保の観点からは逆行することとなります。

以上のような校区の実態から児童の安全を最大限に高めるためには, 学校への迎えをお願いし, 安全に引き渡す。そのための兄弟の移動のさせ方, 児童をお渡しするまでの車や校舎内への入り方などの整然とした誘導の在り方などを研究しここ2年2時間ずつかけて訓練をさせていただきました。



過去の経験から

安全については, 人一倍慎重に考え・実践しているつもりでいますが, それは, 次のような経験をしているからです。

教職に就いて5年目ぐらい2校目に勤務している1学期終業式の午後かその日に近い土曜日の午後, 何かの会のために学校に残っていると, 「交通事故です。救急車を」という声が聞こえてきました。駆けつけてみると, ひしゃげた自転車と小学校2年生の男子児童が道路に横たわっていました。自転車に乗ったまま下り坂を止まらずに道路に出たために車と衝突したことが分かりました。意識はあったので息がしやすいように気道確保をしていると, 母親が到着し, やがて救急車も到着しました。校長先生の指示で私も救急車に同乗し, 救急病院へ向かいました。

その車中, 男の子をゆすりながら「○○, けがは大したことはないからね」「お母さんがついているからね」「○○, 絶対に大丈夫だからね」何回も何回も繰り返される祈りに似た言葉。母親の心の底からの叫びを聞きながら, 十数分を過ごしました。その時, 絶対に交通事故に遭わせたらいけない。絶対に飛び出させない。命を守るための厳しい指導をしようと心に誓ったことを思い起こします。懸命な治療により, 男児は運動ができるまで回復しました。耳に残る救急車の中での母親の叫び声は, その後の学校は安全でなければならないという私の考えの原点を形作っています。



6月の全校朝会で「信号機のない横断歩道で待っているときに止まってくださる車がいたら, 渡り終わったときに, お辞儀をしましょう。そうすると, 運転手さんは『止まってあげてよかった。』とにっこりされ, イライラした気持ち落ち着いて, 事故のない玉江の町になりますよ。」という話をしました。

長期休業に入ります。2回の出校日を挟み, 42日間, 家庭で過ごすことを中心とした生活になります。水の事故, 歩行・自転車ともに交通事故は命に直結します。水の遊びでは, 保護者が目を離さない, そして, 家を出るときには「車に気を付けて・飛び出さないようにね」の言葉を必ずかけてください。その言葉が子供たちの心のどこかに残り, 自分の命を守る行動をするはず。元気に全員の児童が2学期を迎えることができるようご家庭でのちょっとした言葉かけの継続をお願いします。

友達のよさ、家族のありがたさを再発見した 1泊2日の集団宿泊学習

6月28日、29日の1泊2日、5年生が青少年研修センターで集団宿泊学習を行いました。1日目は、出会いのつどい、オリエンテーション、館内見学、昼食のあと、野外協力ゲームを行いました。「知恵の竹ざお」「思考の塔」「滝のぼり」「厚い壁」など、グループで協力しないと達成できない10のミッションにチャレンジしました。玉江小の子どもたちは、意見を出し合い、協力し合い、喜びを分かち合っており、楽しく活動していました。

その後も、おいしい夕食、入浴、灯のつどいなど、仲間とともに楽しみました。

2日目、宿泊した全員が時間どおりに元気に目覚めることができ、朝のつどい、朝食のあと、年輪ネックレス作りに取り組みました。集中して磨き上げ、世界に一つのオリジナルのネックレスを仕上げることができました。触れば触るほどツヤが出るそうです。大切にしたいです。昼食、別れのつどいのあと、学校に帰ってきました。

友達のいいところを再発見したり、家族のありがたさをしみじみと感ずることができたりした集団宿泊学習でした。



野外協力ゲーム「ブラックホール」

ほぐす
わたしたちの

玉江校区のよさ《再》発見!

6年生総合的な学習の時間「レインボータイム」 「地域のよさを発見しよう」～「①玉江校区のよさを知らう」の学習で、6月20日(火)の2～4校時にかけて、6年生148名が鹿児島女子高校、鹿児島工業高校、伊敷中学校、鹿大附属特別支援学校、いにしき幼稚園の5つのグループに分かれて、各学校等の授業や活動、施設の参観等を行いました。

安全に配慮した施設の工夫や中高生の立派な学習態度・技能に驚いたり、グループごとの話合いで質問したことに詳しく答えていただいたりして、今後の進学や就職を展望するうえでも大変有意義な学習となりました。



7月8日(土) 学校林を活用した 「植物・昆虫採集・標本づくり講座」

7月8日、土曜授業の午後、第1理科室で標本づくりについて詳しく教えていただいた後、20分ほど歩いて学校林に行きました。

学校林では、それぞれに昆虫を捕まえたり、植物を採ったりして山を満喫していました。

講師の先生に植物の名前や特徴を詳しく教えていただくことができ、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。



伊敷長なす里帰りプロジェクト ～料理のプロに学ぶ～

《5年生の総合的な学習の時間》

7月5日、1校時から4校時にかけて、5年生の各クラス1時間ずつ家庭科室で「伊敷長なすのおいしい食べ方を知らう」というテーマで学習を行いました。

「ひらのや」さんからプロの料理人さん3名、そして、パン作り教室の先生にご来校いただき、「包丁の技披露」「ピザの作り方実演」「なすのさっぱり和え作り」など、楽しく充実した内容で、あっという間の1時間でした。



今後の主な行事予定

【7月】 ※各学級の計画による教育相談
26日(水) 市水泳記録会 6年生大会
27日(木) 市水泳記録会 5年生大会
30日(日) 校区あいご会体育大会
(ドッジボール・転がしドッジボール・ミニバレー)

【8月】
1日(火) 出校日、全校朝会
5日(土) あいごスポーツ大会 (皆与志農村広場)
17日(木) 「リビング防災+減災プロジェクト」ワークショップ
21日(月) 出校日、全校朝会、玉エコの日